

Design and Analysis of Memory Access Pattern Protection

仲野, 有登

<https://hdl.handle.net/2324/2236252>

出版情報 : 九州大学, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	仲野 有登			
論 文 名	Design and Analysis of Memory Access Pattern Protection (メモリ・アクセスパターン保護の設計と評価)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	櫻井 幸一
	副 査	九州大学	教授	井上 弘士
	副 査	九州大学大学院数理学府	准教授	安田 雅哉

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、CPUとメモリ間通信の時系列的なアクセスパターン解析手法を導入し、ORAMを含む従来手法よりも高速なメモリアクセスパターン保護法を提案するとともに、より脅威である能動的攻撃者に対するORAMの安全性を評価したものであり、情報工学分野に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。